

WX320K 取扱説明書

はじめに（安全上のご注意）

目次

ご使用になる前に

基本的な使いかた

文字の入力と設定

アドレス帳の使いかた

メールの使いかた

インターネットの使いかた

カメラの使いかた

データフォルダの使いかた

音／バイブレーションの設定

画面／照明の設定

スケジュールの使いかた

セキュリティ機能の設定

その他の便利な機能

データ通信の使いかた

ウィルコム各種サービス

ソフトウェアの更新

付録

WX320K

● はじめに

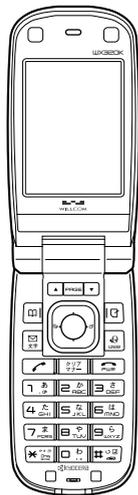
このたびは、「WX320K」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前に、このWX320K「取扱説明書」および「かんたんマニュアル」を必ずお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

● ご注意

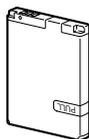
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期してはありますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

● 次のものがそろっているか確認してください

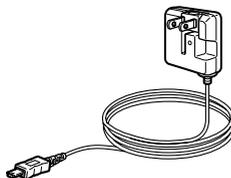
● 本体 (WX320K)



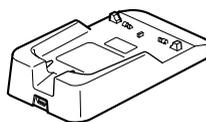
● リチウムイオンバッテリー (LD320K)



● ACアダプタ (AD320K)



● 卓上ホルダ (CH320K)

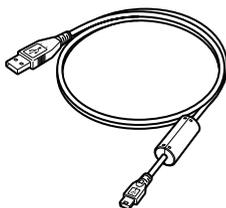


● バッテリーカバー



● USBケーブル

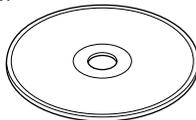
USB (A) オス - USB (Mini-B) オス



● 取扱説明書 (保証書) (本書)

● かんたんマニュアル

● CD-ROM



リチウムイオンバッテリーとバッテリーカバーの取り付けかたについては、「バッテリーの交換」(158ページ)をご参照ください。

● 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

- この「安全上のご注意」には、WX320Kを使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

	この表示は「人が死亡または重傷 ¹⁾ を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
	この表示は「人が死亡または重傷 ¹⁾ を負う可能性が想定される内容」を示しています。
	この表示は「人が傷害 ²⁾ を負う可能性が想定される内容や物的損害 ³⁾ の発生が想定される内容」を示しています。

¹⁾「重傷」とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

²⁾「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

³⁾「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

行為を禁止する記号			
			
禁止	分解禁止	水ぬれ禁止	ぬれ手禁止
行為を指示する記号			
			
指示	電話でサポート		

■ 免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（事業利益の損失・事業の中断、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 大切なデータは、コンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをお勧めします。万一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

WX320K本体／バッテリー／充電用機器共通

WX320K本体・バッテリー・充電用機器のそれぞれにも注意事項の記載があります。必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠ 危険

-  必ず専用の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用すると破裂・発火・火災・漏液の原因となります。
WX320K周辺機器
・ACアダプタ<AD320K>
・バッテリー<LD320K>
・卓上ホルダ<CH320K>

-  高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

-  引火性ガスや油煙が発生する場所では使用しないでください。ガスに引火し、破裂・発火・火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火性ガスが発生する場所では電源を切り、充電もしないでください。

-  火の中に投入したり、加熱しないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

-  加熱用機器（電子レンジなど）や高圧容器に入れないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

-  分解・改造・修理はしないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電・けがの原因となります。PHSの改造は電波法違反になります。故障などによる修理は、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。

-  導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）を、接続端子に接触させたり内部に入れたりして接続端子をショートさせないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電の原因となります。

-  高所から落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

-  使用中に煙が出る、においがする、異常な音が出るなど異常が起きたら直ちに使用中を中止してください。異常が起きた場合は電源を切り、バッテリーをはずしてウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

-  AC100V以外のACコンセントに直接つながないでください。破損の原因となります。

⚠ 警告

-  通電状態で接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・けがの原因となります。



水ぬれ禁止

水などの液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の高い場所での使用、濡れた手での使用はしないでください。感電や電子回路のショートの原因となります。



ぬれ手禁止



指示

水に濡れたり、落下したり、破損したりした場合などはそのまま使用せず、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。



禁止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。けがなどの原因となります。



禁止

直射日光のあたる場所（自動車内など）、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発火・火災の原因となります。

⚠️注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがの原因となります。また、WX320Kがバイブレータ設定になっている場合、振動により落下する可能性があるため特にご注意ください。



禁止

外部から電源が供給されている状態のWX320K本体・バッテリー・充電用機器に長時間、触れないでください。低温やけどの原因となります。

WX320K本体について

共通の注意事項（WX320K本体・バッテリー・充電用機器）についても記載がありますので、必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠️危険



禁止

自動車・バイク・自転車などの運転中は使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・バイク運転中のPHSの使用は危険なため法律で禁止されています。



禁止

自動車内で使用する場合は、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。



指示

航空機に搭乗される場合は、運航の安全に支障をきたすおそれがありますので、電源をお切りください。航空機内でのPHSの使用は法律で禁止されています。



禁止

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器の近くでPHSを使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ってください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、PHSを心臓ペースメーカーなど装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、PHSの電源を切るようにしてください。

3. 医療機関の屋内では以下のことに注意してご使用ください。
 - ・手術室・集中治療室（ICU）・冠動脈疾患監視病室（CCU）にはPHSを持ち込まない。
 - ・病棟内では、PHSの電源を切る。
 - ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、PHSの電源を切る。
 - ・医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（平成9年3月「不要電波問題対策協議会」{現電波環境協議会}）に準拠し、また「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

PHSについては平成12～13年度に調査が行なわれ、平成17年に上記指針、報告書の内容が妥当であることが総務省より公表されています。



指示

高精度な電子機器の近くでは電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医用電子機器をお使いの場合は、機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）



指示

通話・メールなどするときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。



指示

屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちにWX320Kの使用を中止してください。落雷・感電の原因となります。WX320Kの電源を切って、安全な場所へ移動してください。

⚠️警告



水ぬれ禁止

雨天・降雪中・海岸・水辺などで使用する場合は水ぬれや湿気、身に付けている場合は汗による湿気にご注意ください。感電や電子回路のショートの原因となります。



ぬれ手禁止



禁止

WX320Kが落下により破損し、電話機内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部だけがすることがあります。ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。



指示

心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の大きさの設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。



禁止

暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、ごくまれに、筋肉のまひや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。レンズの集光作用により、発火・火災の原因となります。



指示

通常は平型イヤホンマイク端子カバー・USB端子カバー・バッテリーカバーなどははめた状態で使用してください。カバーをはめずに使用していると、ほこり・水などが入り感電や電子回路のショートの原因となります。

注意

禁止

ハンドストラップなどを持って振り回さないでください。けがの原因となります。



指示

WX320Kを閉じるときは、手などをはさまないように閉じてください。けがの原因となります。



指示

WX320Kを開くときはヒンジ部（つなぎ目）に指をはさまないようにご注意ください。けがの原因となります。



禁止

キャッシュカードやフロッピーディスク等の磁気を帯びた記録媒体や電子機器、金属製品を近づけたり、はさんだりしないでください。磁気データの消失の原因となります。



禁止

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

(使用箇所)

- ・ (使用材料)
- ・ (表面処理)

外装ケース

- ・ PC/ABS樹脂
- ・ アクリル系UV硬化塗装処理

カメラレンズ部

- ・ アクリル樹脂
- ・ 化学硬化処理

ウィンドウパネル部 (メイン)

- ・ アクリル樹脂
- ・ 化学硬化処理

ウィンドウパネル部 (サブ)

- ・ アクリル樹脂
- ・ 化学硬化処理

フロントジョグキー

- ・ PC/ABS樹脂
- ・ メッキ処理

アドレス帳キー、マイオリジナルキー、メールキー、Operaキー、ページアップキー/ページダウンキー

- ・ アクリル樹脂
- ・ -

発信・通話キー、電源・終了キー、クリア/マナーキー、ダイヤルキー

- ・ PC樹脂
- ・ アクリル系UV硬化塗装処理

サイドキー (シャッター/メモキー)

- ・ PC樹脂
- ・ アクリル系UV硬化塗装処理

ネジキャップ (メインディスプレイ上部)

- ・ アクリルウレタン樹脂
- ・ -

ネジキャップ (メインディスプレイ下部、背面)

- ・ PET樹脂
- ・ -

USB端子カバー

- ・ エラストマ樹脂
- ・ アクリル系UV硬化塗装処理

平型イヤホンマイク端子カバー

- ・ PC/ABS樹脂、エラストマ樹脂
- ・ アクリル系UV硬化塗装処理

充電端子

- ・ りん青銅
- ・ 金メッキ (下地：ニッケルパラジウム)

モールドクッション

- ・ アクリルウレタン樹脂
- ・ -

マクロ撮影切替スイッチ

- ・ POM
- ・ -

アルミ装飾パネル

- ・ アルミニウム
- ・ アルマイト処理

カメラウィンドウパネル

- ・ アルミニウム
- ・ アルマイト処理

アンテナ先端

- ・ PC/ABS樹脂
- ・ -

アンテナチューブ

- ・ PBTおよびナイロン
- ・ -

アンテナストッパー

- ・ 黄銅
- ・ クロムメッキ



禁止

耳を刺激するような大音量で長時間続けて聞かないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

バッテリーについて

共通の注意事項（WX320K本体・バッテリー・充電用機器）についても記載がありますので、必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠ 危険



バッテリーの（+）と（-）をショートさせないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。



持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。バッテリーがショートし、過大な電流が流れ、破裂・発火・発熱の原因となります。



バッテリーをWX320Kに装着するときは、（+）（-）を逆にしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず接続部を十分に確認してください。



釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。



直接ハンダ付けをしたり、分解・改造をしたりしないでください。バッテリー内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、破裂・発火・発熱の原因となります。



漏液したり、臭異がするときは直ちに使用を中止してください。また万一近くに火気がある場合は、火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、破裂・発火の原因となります。

⚠ 警告



内部の液が目に入った場合は、こすらずにきれいな水で十分洗ったあと直ちに医師の治療を受けてください。放置すると失明するおそれがあります。

⚠ 注意



内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で十分に洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。



不要なバッテリーは、一般のゴミといっしょに捨てないでください。不要になったバッテリーは端子にテープなどを貼り絶縁してから、ウィルコムプラザ・ウィルコムカウンターなどにお持ちください。バッテリーを分別回収している市町村の場合は、その条例に従って処理してください。

充電用機器について

⚠ 危険



所定の時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。バッテリーの液もれ・破裂・発火・火災・発熱の原因となります。ウィルコムサービスセンター、京セラテックニカルサービスセンターまでご連絡ください。



雷が鳴り出したらACアダプタや卓上ホルダに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

⚠ 警告



指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。



ACアダプタをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリなどを接触させないでください。発火・火災・感電・けがの原因となります。



電源プラグを抜く

充電時以外は、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。発火・火災・感電の原因となります。



ACアダプタの電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、発火・火災・発熱・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・発火・火災・感電・ショートの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。



充電中は布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。発火・火災の原因となります。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発火・火災・発熱の原因となります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたまま使用しないでください。また、傷んだ電源コードは使用しないでください。発火・火災・感電・ショートの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れをするときには、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると感電やショートの原因となります。



ACアダプタの電源プラグに付いたほこりはふき取ってください。そのまま放置すると発火・火災の原因となります。



ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードが損傷し、発火・火災・感電の原因となります。

● 取扱上のお願い

WX320K本体／バッテリー／充電用機器共通

- 無理な力がかかると、ディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重いものの下になつたりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温、低温、多湿はお避けください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 電源／充電端子、USB端子部をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき電源端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ペンジン／シンナー／アルコール／洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 一般電話／テレビ／ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通話中、インターネットの接続中、メールなどの利用中や充電中など、温かくなることがありますが異常ではありません。
- バッテリーは、電源を切ってから取りはずしてください。
- ACアダプタ(AD320K)はAC100V専用です。海外でご使用になる場合は、その国に対応している変圧器が必要です。

WX320K本体について

- WX320Kで使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット(点)または、常時点灯するドットが存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。本体を開くときやご使用中は、ヒンジ部(つなぎ目)に無理な力が加わらないようにしてください。振り回したりそらしたりして本体に無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので取扱には十分ご注意ください。
- 強く押し、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。キズの発生や、破損の原因となることがあります。
- ディスプレイを硬いものでこすったりして傷付けないようにご注意ください。
- ポケットおよびバッグなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材にあたらないようにしてください。また、金属などの硬い部材のストラップは、ディスプレイのキズの発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話部が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話部(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声聞きづらくなる場合があります。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、WX320K内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。

- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- メインディスプレイやキーのある面にシールなどを貼らないでください。本体を閉じたときキーなどが押されるなどして誤動作したり、閉じたときにキー操作ができなくなる場合があります。また、WX320K本体が損傷するおそれがあります。
- データを再生中に無理なキー操作を行うと、データが停止するなど通常と異なる動作をする場合があります。

バッテリーについて

- WX320Kのバッテリーは、リチウムイオンバッテリーです。
- 夏期、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境でのご使用は、バッテリーが膨らんだり、バッテリーの容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、バッテリーの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合には、本体からはずし、ケース等に入れて高温多湿を避けて保管してください。
- はじめにご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。(充電中、バッテリーが温かくなることがありますが異常ではありません。)
- バッテリーには寿命があります。著しく膨らんだり、充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の新しいバッテリーをご購入ください。なお、寿命は使用状態によって異なります。



Li-ion

環境保護のため、寿命がきたバッテリーは普通のゴミと一緒に捨てずにウィルコムプラザ・ウィルコムカウンターなど、またはリサイクル協力店などにお持ちください。充電式バッテリーの収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
社団法人電池工業会
TEL：03-3434-0261
ホームページ：
<http://www.baj.or.jp>

充電用機器について

- ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントからはずしてください。
- WX320Kの充電端子、卓上ホルダの接続端子は、ときどき乾いた綿棒で清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。

カメラ機能について

- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- ご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえで使用ください。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているかご確認ください。
- 故障、修理、その他の取り扱いにより、撮影した画像データ（以下「データ」といいます。）が変化または消失することがあります。この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失により生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- カメラ機能を使用して、撮影が許可されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはやめてください。

著作権／肖像権について

- お客様がWX320Kで撮影／録音したものを複製、改変、編集などをする行為は、個人で楽しむ目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者に無断でこれらの行為を行うと、「著作権侵害」「著作者権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。
- 撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影／録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権にかかわる画像やサウンドの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。

暗証番号について

● ご注意

- 暗証番号を必ずご確認ください。お買い上げ時には「1234」が設定されていますが、お客様が必要に応じて暗証番号を変更することができます（「暗証番号を変更する」124ページ）。
- 暗証番号は秘密保持および、誤操作防止のために使用される大切な番号です。番号をお忘れにならないようご注意ください。万一お忘れになった場合は、WX320Kとウィルコムのお申込書の控え、または契約内容確認書類と身分証明書（顔写真の入ったもの）をご持参のうえ、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡いただくこととなりますのでご注意ください。（預り修理・有償）

お買い上げ時：
「1234」

暗証番号

--	--	--	--	--

- 暗証番号は、セキュリティ（閉めるとロック／着信拒否／操作ロック／シークレットモード／暗証番号変更／本体リセット、リモートロック）、全件削除等の機能をご利用いただく際に必要となります。
- リモートロックのパスワード（125ページ）は、本機の4桁の暗証番号とは異なり、お客様の必要に応じて4～8桁の数字で設定することができます。番号をお忘れにならないようご注意ください。万一お忘れになった場合は、本機とウィルコムのお申込書控え、または契約内容確認書類と身分証明書（写真の入ったもの）をご持参のうえ、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡いただくこととなりますのでご注意ください。（有償）

暗証番号

--	--	--	--	--

● 携帯電話／PHS端末のリサイクルについて



モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話・PHS端末のリサイクルのご紹介。

携帯電話／PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機、バッテリー、充電用機器をブランド／メーカーを問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

● ご注意

- 回収した電話機、バッテリー、充電用機器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

● 平型ステレオイヤホン（市販品）を使う



● ご注意

- 平型ステレオイヤホン平型イヤホンマイク端子部から引き抜くときは、コードを引っ張らないでください。
- ご使用後は平型イヤホンマイク端子カバーをしっかりと閉じてください。水分やほこりが侵入すると故障の原因となります。

目次

はじめに	
次のものがそろっているか確認してください	
本書の読みかた	1
安全上のご注意	2
安全にお使いいただくために必ずお読みください	
表示の説明	2
図記号の説明	2
免責事項について	2
WX320K本体/バッテリー/充電用機器共通	2
WX320K本体について	3
バッテリーについて	5
充電用機器について	5
取扱上のお願	6
WX320K本体/バッテリー/充電用機器共通	6
WX320K本体について	6
バッテリーについて	6
充電用機器について	6
カメラ機能について	7
著作権/肖像権について	7
暗証番号について	7
携帯電話/PHS端末のリサイクルについて	7
平型ステレオイヤホン(市販品)を使う	7

●ご使用になる前に 12

各部の名称と機能	12
メインディスプレイの見かた	14
サブディスプレイの見かた	15
キー操作の基本	16
カーソルを動かして選択/確定する (フロントジョグキー/センターキー)	16
数字キーを使って項目を選択する(ダイヤルキー)	16
一つ前の画面に戻る/操作を中止する (クリアキー/電源・終話キー)	16
ページをめくる(ページアップキー/ページダウンキー)	17
ソフトキーの操作について	17
ご使用前の準備	18
バッテリーの充電について	18
充電する	18
パソコンとUSBケーブルを使って充電する (USB充電)(機能番号71)	19
アンテナの取り扱いについて	20
電源をON/OFFにする	20
時計を設定する(日時設定)(機能番号51)	20
自動時刻補正を行う(自動時刻補正) (機能番号52)	21
時計に日付を表示させる(ピクト時計) (機能番号53)	21

●基本的な使いかた 22

電話をかける	22
電話番号を入力してかける	22
発信履歴/着信履歴から電話をかける(機能番号13)	23
発信履歴画面/着信履歴画面のメニューを使う	24
スピードダイヤルを使う	24
スピードダイヤルで電話をかける	24
スピードダイヤルでWebページにアクセスする	25
自分の電話番号を相手に通知する (発信者番号通知)(機能番号15)	25
国際電話をかける	25
WX320Kから海外へかける場合	25
海外から日本国内のWX320Kへかける場合	25
電話を受ける	26
通話中に保留する(ミュート)	26
通話中にプッシュ信号を送る	27
マイオリジナルを使う	27
音声メモ/伝言メモを使う	28
通話中に相手の声を録音する(音声メモ)	28
電話に出られないときに応答して相手の声を録音する (伝言メモ)	28

伝言メモを設定/解除する(伝言メモ設定) (機能番号61)	28
伝言メモの応答メッセージを録音する (応答メッセージ録音)(機能番号62)	29
応答メッセージを設定する (応答メッセージ選択)(機能番号63)	29
応答時間を設定する(伝言メモ応答時間) (機能番号64)	29
音声メモや伝言メモを再生/削除する	29
マナーモードを設定/解除する(マナーモード)	30
モードを選択して設定する	30
オリジナルマナーを登録する (オリジナルマナー編集)	31
安全運転モードを設定/解除する (安全運転モード)	32
応答先を設定する(機能番号65)	32
小さな声で話せるように設定/解除する (マナートーク®)	32
着信中に着信音をバイブレータに切り替える (マナー着信)	32
通話中に受話音量を調節する	33
サイドキーの操作を無効にする (サイドキー操作無効)	33

●文字の入力と設定 34

文字を入力する	34
文字入力モードの切り替え	34
各キーに割り当てられた文字について	34
ダイヤルキーで入力する	35
漢字に変換する	35
文字入力メニューを使う	36
記号/定型文/絵文字/顔文字を入力する	36
文字をコピー/カット/貼り付けする	37
定型文を編集する (定型文登録)(機能番号84)	37
顔文字を編集する (顔文字登録)(機能番号85)	38
よく使う単語を登録/編集/削除する (ユーザ辞書)(機能番号81)	38
予測変換を設定する(予測変換設定) (機能番号82)	39
学習情報を削除する(学習内容リセット) (機能番号83)	39
辞書データを登録/解除する (オプション辞書登録)(機能番号86)	39

●アドレス帳の使いかた 40

アドレス帳に登録する	40
アドレス帳の各項目を登録する	40
音声着信/メール受信時の音とLED色を設定する	42
他の機能からアドレス帳に登録する	42
アドレス帳を呼び出す	43
表示方法について	43
1画面表示/1行表示画面のメニューを使う	44
アドレス帳詳細画面のメニューを使う	44
アドレス帳を検索する	45
アドレス帳から発信する	45
アドレス帳の各種設定をする	46
グループを設定する	46
アドレス帳を呼び出すときの検索方法を設定する	46
アドレスカード(vCard形式)について	47
アドレス帳のデータ(vCard)を データフォルダへコピーする	47
Eメールにアドレス帳のデータ(vCard)を添付する	47
データフォルダのアドレスカード(vCard)を アドレス帳に登録する	47

●メールの使いかた 48

はじめてEメールを使うときは	48
オンラインサインアップをする	48
Eメール/ライトメールについて	49
Eメールについて(ウィルコム/Eメール)	49
Eメール機能の仕様	49
ライトメールについて	49
ライトメール機能の仕様	49
メールメニューについて	50
Eメールを作成して送信する	51
To(宛先)を入力する	52
Sub(件名)/本文を入力する	52
データを添付する	53
作成したEメールを保存/送信予約する	53
保存したEメールを編集して送信する	54
送信予約したEメールを送る	54
ライトメールを作成して送信する	54
作成したライトメールを保存する	55
保存したライトメールを編集して送信する	55
メールを受信/返信/転送する	55
受信したメールを読む	55
メールを自動的に受信して読む(パッとみる®)	55
受信メール一覧から受信したメールを読む	56
サーバーにEメールがあるかどうかを問い合わせる	57
添付ファイルを表示/再生/保存する	57
受信したEメールに返信する	57
受信したライトメールに返信する	58
受信したEメールを転送する	58
受信したライトメールを転送する	58
受信メール/送信メールの宛先一覧画面のメニューを使う	58
メール本文の電話番号/Eメールアドレス/URLを直接利用する	59
メールを管理する	60
受信ボックス/送信ボックス(フォルダ表示)画面のメニューを使う	60
受信メール/送信メール一覧画面のメニューを使う	60
受信メール/送信メール詳細画面のメニューを使う	61
メールを削除する	62
メールを保護する	62
便利な設定を使う	63
アカウントごとの各種設定をする	64
接続先を設定する	65
ライトメールの設定をする	66
受信メールを自動的にフォルダに振り分ける	66
振り分け条件一覧画面のメニューを使う	66
一般プロバイダーのEメールを設定する	67
アカウントを設定する	67
受信メールアカウントを切り替える	67

●インターネットの使いかた 68

はじめてインターネットを使うときは	68
オンラインサインアップをする	68
インターネット機能について	68
インターネットを使うための接続先を設定する	68
セキュリティ通信について	68
端末情報の通知	69
Operaブラウザについて	69
表示モード	69
Operaブラウザの基本操作	70
Operaブラウザの起動と終了	70
Operaブラウザを起動し、CLUB AIR-EDGEにアクセスする	70
Operaブラウザを終了する	70
Operaブラウザでの主なキー操作について	70
Operaブラウザの表示モードを切り替える	71
ダウンロードのしかた	71
ブックマークについて	72
表示中のWebページをブックマークに登録する	72
ブックマークに登録したWebページにアクセスする(ブックマーク一覧)	73
Webページ上の情報を利用する	73
Opera(WEB)メニューについて	74
Operaブラウザのメニューについて	74
URLを入力または入力履歴からアクセスする	75

Webページ表示中のメニューについて	75
Webページの画像やBGM、Webページ全体を保存する	76
保存ページから表示する	76
Webページから移動する	77
ブックマーク一覧について	78
ブックマーク一覧画面のメニューを使う	78
ブックマークを編集する	79
Operaブラウザの環境設定	80
Opera(WEB)メニューからの環境設定	80
Webページ表示中の環境設定	82
Webページの新着情報を確認する(RSSリーダー)	83
ユーザー登録をする	83
RSSフィードを登録する	83
RSSリーダーを使う	84
登録したRSSフィードのアイテムにアクセスする	84
RSSフィード一覧画面のメニューを使う	85
RSSフィードの管理をする	85
ダイヤルアップを設定する	86
ダイヤルアップを設定/解除する(ダイヤルアップ設定)(機能番号93)	86

●カメラの使いかた 88

カメラ撮影の準備をする	88
撮影する	90
撮影する	90
ズーム機能を使う	90
明るさを調整する	90
連写撮影する	91
マクロ(接写)撮影する	91
セルフタイマーで撮影する	91
モニター画面のメニューを使う	92
プレビュー画面のメニューを使う	94
撮速メール®を使って画像を送る	95
撮速メール®の送信先を設定する	95
撮速メール®を送信する	95

●データフォルダの使いかた 96

データフォルダについて	96
データフォルダの構成	96
保存できるデータの種類	96
データを再生する	97
再生中の操作について	97
データ再生中のメニューを使う	98
画像データを編集する	99
画像データを変換する	99
データを登録する	100
データフォルダのメニューを使う	101
データを削除する	101

●音/バイブレーションの設定 102

音声着信の音/バイブレーションを設定する(音声着信)(機能番号21)	102
Eメール、ライトメールの受信音/バイブレーションを設定する(Eメール/ライトメール受信)(機能番号22/23)	103
アラームの音量/バイブレーションを設定する(アラーム)(機能番号24)	104
スケジュールアラームの音量/バイブレーションを設定する(スケジュールアラーム)(機能番号25)	104
キーの操作音量を設定する(操作音)(機能番号26)	105
データを再生するときの音量を設定する(データ再生音)(機能番号27)	105
電源を入れたときの音を設定/解除する(ウェイクアップトーン)(機能番号28)	105
圏外するときの音を設定/解除する(圏外警告音)(機能番号29)	105

●画面／照明の設定 106

メインディスプレイを設定する (メインディスプレイ) (機能番号31).....	106
時計やカレンダーの表示方法を設定する (時計カレンダー表示) (機能番号312).....	107
サブディスプレイを設定する (サブディスプレイ) (機能番号32).....	107
電話を受けたときの名前の表示方法を 設定する (名前表示) (機能番号33).....	108
充電中の画面照明を設定する (充電時LCD) (機能番号34).....	108
メインディスプレイの照明の明るさ／点灯 時間を設定する (照明) (機能番号35).....	108
節電画面を設定する (節電画面) (機能番号36).....	109
表示する文字の大きさを設定する (文字サイズ) (機能番号37).....	109
画面の配色を設定する (配色設定) (機能番号38).....	109
メインメニューの表示を変更する.....	109

●スケジュールの使いかた 110

カレンダーを表示する.....	110
スケジュール/TODOの一覧を表示する.....	111
カレンダーのメニューを使う.....	112
表示色変更画面のメニューを使う.....	113
スケジュールを登録／編集／確認する.....	114
スケジュールの各項目を登録する.....	114
スケジュールの繰り返しを設定する.....	115
スケジュールアラームを設定する.....	115
スケジュールを確認する.....	116
スケジュールのメニューを使う.....	116
登録された電話番号／Eメールアドレス／ URLを利用する.....	116
TODOを登録／編集／確認する.....	117
TODOの各項目を登録する.....	117
TODOを確認する.....	118
TODOのメニューを使う.....	118
スケジュールカード (vCalendar形式) について.....	118
スケジュール/TODOのデータをスケジュール カードに変換してコピーする.....	118
スケジュールカードをスケジュール/TODOに 登録する.....	118

●セキュリティ機能の設定 120

WX320Kを閉じてダイヤルロックをかける (閉めるとロック) (機能番号41).....	120
閉めるとロックを設定／解除する.....	120
ダイヤルロックの状態を一時的に解除する.....	120
着信拒否する電話番号を設定する (着信拒否) (機能番号42).....	120
各種機能の操作にロックをかける (操作ロック) (機能番号43).....	122
使用制限を設定／解除する.....	122
登録した電話番号以外に電話をかけられなくす (発信先一覧) (機能番号432).....	123
操作ロック中の一時解除について.....	123
シークレットモードを設定する (シークレットモード) (機能番号44).....	123
暗証番号を変更する (暗証番号変更) (機能番号45).....	124
登録内容や各機能の設定をリセットする (本体リセット) (機能番号46).....	124
遠隔操作でWX320Kを他の人が使えないようにする (リモートロック) (機能番号47).....	125
リモートロックを設定する.....	125
電話をかけてリモートロックを設定する.....	126
ライトメールを送信してリモートロックを設定する.....	126
リモートロックを解除する.....	126
電話をかけてリモートロックを解除する.....	126
ライトメールを送信してリモートロックを解除する.....	127

リモートロックの設定／解除を許可する電話番号を
登録する (着信番号一覧／ライトメール番号一覧)
(機能番号472/474).....127

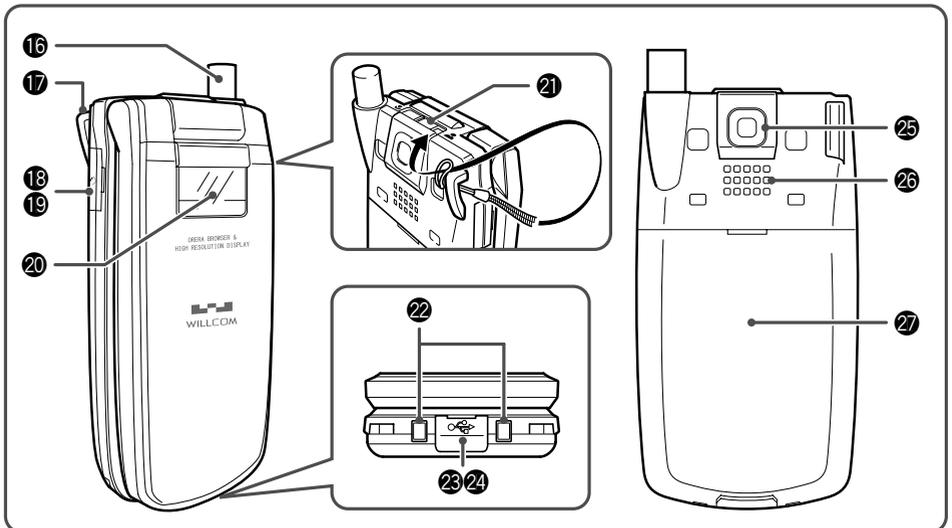
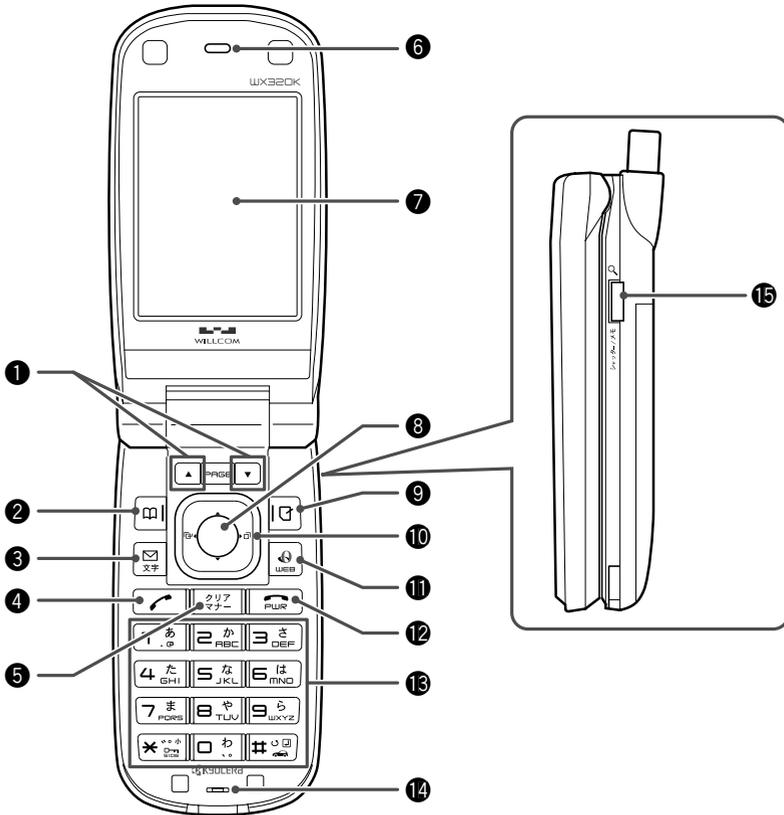
●その他の便利な機能 128

アラーム機能を使う (アラーム) (機能番号54).....	128
アラーム設定を登録／編集する.....	128
アラーム設定を削除する.....	129
アラームを止める.....	129
メモ帳を登録する.....	130
メモ帳を登録する.....	130
メモ帳のメニューを使う.....	130
詳細を表示する.....	130
ダイヤルメモを使う (ダイヤルメモ).....	131
ダイヤルメモを登録する.....	131
ダイヤルメモを呼び出して使う.....	131
待受中に音声を録音する (Myボイスメモ登録).....	132
通信中の電話の着信を設定する (通信中着信) (機能番号17).....	132
通信中のメール受信を設定する (通信中メール受信) (機能番号18).....	133
プロフィールを登録／確認する (プロフィール) (機能番号0).....	133
プロフィールの詳細を登録する.....	133
登録したプロフィールの詳細を確認する.....	134
プロフィール詳細表示画面のメニューを使う.....	134
通話時間を表示する.....	135
通話時間の合計を表示する (累積通話時間) (機能番号11).....	135
通話中に通話時間を表示させる (通話時間目安表示) (機能番号12).....	135
エニーキーアンサーを設定／解除する (エニーキーアンサー) (機能番号14).....	135
WX320Kを開いたときの動作を設定する (着信時フォルダオープン) (機能番号16).....	135
上下キーに機能を設定する (上下キー割り当て) (機能番号95).....	136
センターキーの長押しに機能を設定する (センターキー長押し割り当て) (機能番号96).....	136
電卓を使う (電卓).....	136
平型イヤホンマイクを接続する (イヤホン自動応答) (機能番号19).....	137
平型イヤホンマイクの応答時間を設定する (イヤホン自動応答秒数) (機能番号10).....	137
現在の位置情報を通知する.....	138
L機能を設定する (L設定) (機能番号91).....	138
通知許可番号と通知許可パスワードを 登録する (機能番号913).....	138
通知許可番号と通知許可パスワードを編集／ 削除する.....	139
位置情報を通知する.....	139
相手から位置情報送出の要求があったとき.....	139
所在位置を登録する.....	139
所在位置のみ登録する.....	139
所在位置とステータスコードを登録する.....	139
国際ローミングを利用する (お申し込み必要) (国際ローミング) (機能番号94).....	140
ローミングモードに切り替える (国・地域／事業者選択) (機能番号941).....	140
ローミングモードで電話をかける.....	140
ローミングモードで電話を受ける.....	140
国際プリフィックス番号を簡単に付ける.....	140
ローミング情報を登録する (ローミング情報登録) (機能番号942).....	141
ローミング情報を削除する.....	141
各機能の情報を削除する.....	142
QRコードリーダーを使う.....	142
QRコードリーダーを起動する.....	142
カメラのモニター画面から起動する.....	143
アクセサリから起動する.....	143
QRコード解析画面のメニューを使う.....	143

Java™アプリについて	144
Java™アプリをインストールする	144
Java™アプリを起動する	144
Java™アプリ一覧画面のメニューを使う	145
Java™アプリの設定をする	145
データのバックアップをする	146
データをバックアップ（エクスポート）する	146
バックアップデータをインポートする	146
●データ通信の使いかた	148
データ通信の準備をする	148
データ通信について	148
64kPIAFSの通信方式を設定する （データ通信方式）（機能番号92）	150
WX320Kとパソコンを接続する	150
USBモードを切り替える（USBモード） （機能番号72）	150
発信する	151
着信する	151
●ウィルコムの子種サービス	152
留守番電話サービスについて （お申し込み必要）（機能番号1*）	152
メッセージを確認する	152
メッセージを聞く	152
留守番電話サービスの設定を変更する	153
着信転送サービスについて （お申し込み不要）	153
料金分計サービスについて （お申し込み必要）	154
料金分計で電話をかける	154
国際ローミングについて（お申し込み必要）	154
●ソフトウェアの更新	156
最新のソフトウェアをダウンロードして使う （ソフトウェア更新）（機能番号971）	156
接続先URLを変更する（機能番号972）	156
●付録	158
主な仕様	158
バッテリーの交換	158
故障とお考えになる前に	159
アフターサービスについて	167
保証書について	167
修理を依頼されるときは	167
補修用性能部品について	167
アフターサービスについて	167
漢字コード一覧	168
機能一覧	181
各機能の選択項目一覧	185
索引	187
お問い合わせは	192

ご使用になる前に

● 各部の名称と機能



- ① ページアップキー▲ (PAGE) / ページダウンキー▼ (PAGE)
ページをめくるときに押します。待受中は以下のよう
に使用します。
・ ▲は受信メール一覧を表示
・ ▼は送信メール一覧を表示
- ② アドレス帳キー☎
アドレス帳を利用するときや、メインディスプレイ
左下に表示している機能进行操作するときを押します。
- ③ メールキー✉
Eメールやライトメールを利用するときを押します。
- ④ 発信・通話キー☎
電話をかけるときや受けるときに押します。
- ⑤ クリア/マナーキー☒
入力した文字を訂正するときや1つ前の操作に戻る
ときに押します。また、マナートーク®/マナーモ
ードを設定するときを押します。
- ⑥ イヤースピーカー (受話口)
通話中に相手の声が聞こえます。
- ⑦ メインディスプレイ
〔「メインディスプレイの見かた」14ページ〕
- ⑧ センターキー●
各機能の登録や設定をするとき、また選択した項目
を確定するときを押します。また、メインディス
プレイ中央下に表示している機能进行操作するとき
を押します。
- ⑨ マイオリジナルキー☒
マイオリジナル一覧を表示するときや、メインディ
スプレイ右下に表示している機能进行操作するとき
を押します。
- ⑩ フロントジョグ▲▼◀▶
画面上のカーソルを移動するときを押します。待受
中は以下のように使用します。
・ ▲は着信履歴を表示
・ ▼は発信履歴を表示
- ⑪ OperaキーⓄ
Opera (インターネット) を利用するときを押しま
す。
- ⑫ 電源・終話キー☎
電話を切るときに押します。また電源を入れるとき
や、機能の設定を終了するときを押します。
- ⑬ ダイヤルキー
電話番号や文字を入力するときを押します。
- ⑭ マイク (送話口)
通話中に自分の声を相手に伝えます。
- ⑮ シャッター/メモキー☐ (サイドキー)
カメラのシャッターとして使用します。また、サブ
ディスプレイの表示を切り替えるときや、録音再生
メニューを表示するときを押します。
- ⑯ アンテナ
通話時やEメール、ライトメール、インターネット
などを使用するときは、止まるまで伸ばしてくださ
い。
- ⑰ ハンドストラップ取付部
- ⑱ 平型イヤホンマイク端子カバー
平型イヤホンマイク (市販品) を使用するとき、こ
の端子に接続します。
- ⑲ サブディスプレイ
〔「サブディスプレイの見かた」15ページ〕
- ⑳ マクロ撮影切替スイッチ ☎☐☎
マクロ撮影するときを使用します。
- ㉑ 充電端子
卓上ホルダを使って充電するとき、ここが接続部
になります。
- ㉒ USB端子カバー
USB端子カバー
- ㉓ USB端子
USBケーブルでパソコンなどに接続します。
- ㉔ カメラ (レンズ部)
静止画の撮影をします。
- ㉕ スピーカー
電話がかかってきたとき、着信音が鳴ります。また、
音楽データもスピーカーから再生されます。
- ㉖ バッテリーカバー

●メインディスプレイの見かた



● ご注意

- 本書内の画面表記では、ピクト表示エリアを省略している場合があります。
- 本書内の画面表記は実際の画面と書体や形状、明るさが異なる場合があります。

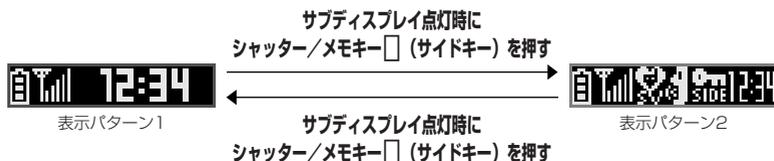
	(赤) なし (要充電)
(バッテリー残量、充電中は点滅)	少 (要充電)
	中
	十分
	圏外
(電波状態)	微弱 ← → 強
	新着のEメールあり
	新着のライトメールあり
	新着のEメール、ライトメールあり
	未読のEメールあり
	未読のライトメールあり
	未読のEメール、ライトメールあり
	Eメール受信失敗
	電話に出られなかった着信あり
	通話中
	パケット方式
(通信中表示)	フレックスチェンジ方式
	32kPIAFS
	64kPIAFS (ベストエフォート型)
	64kPIAFS (ギャランティ型)
	Operaブラウザ起動中
	データ送受信中に点滅
	フルスクリーンモード
	スモールスクリーンモード

	ケータイモード
	SSL通信中
	Java™アプリ起動中
	自動位置情報送出国設定中
	ローミングモード設定中
	時刻表示
	標準マナーモード
	オリジナル1マナーモード
	オリジナル2マナーモード
	サイレントマナーモード
	音声着信の音量「OFF」に設定中
	バイブレーション設定中
	アラーム設定中
	シークレットモード設定中
	閉めるとロック設定中
	伝言メモ設定中
	音声メモあり
	安全運転モード設定中
	音声/伝言メモ1件あり
	音声/伝言メモ2件あり
	音声/伝言メモ3件あり
	サイドキー操作無効設定中
	(グレー)「自動更新」を「OFF」以外に設定中
	(オレンジ) 新着RSSアイテムを取得できた場合
	(赤と黒) 自動更新が失敗したとき

* : 分計発信時には「」が水色に表示されます。

● サブディスプレイの見かた

WX320Kを閉じた状態のときに、サブディスプレイから各種情報を確認することができます。また、サブディスプレイの照明が点灯しているときにサイドキーを押すと、表示内容が切り替わります。



お知らせ

- 表示パターン1を表示していても、サイドキー操作無効の設定をしたときや、新着メール、不在着信があった場合は表示パターン2に切り替わります。
- サブディスプレイの「照明 (LED) 点灯」(107ページ) を「ON」に設定すると、WX320Kを閉じたとき、またはサイドキー押下時に約10秒間サブディスプレイが点灯します。

 (バッテリー残量、充電中は点滅)		なし (要充電)
		少 (要充電)
		中
		十分
 (電波状態)		圏外 微弱 ← → 強
		
		標準マナーモード
		オリジナル1マナーモード
		オリジナル2マナーモード
		サイレントマナーモード
	Opera ブラウザ起動中	
	通話中	
	音声着信の音量「OFF」に設定中	
	ハイブレータ設定中	
 (通信中表示)		パケット方式
		フレックスチェンジ方式
		32kPIAFS
		64kPIAFS (ベストエフォート型)
		64kPIAFS (ギャランティ型)

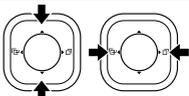
	伝言メモ設定中	
	安全運転モード設定中	
	サイドキー操作無効設定中	
	12:34 時刻表示	
		新着のEメールあり
		新着のライトメールあり
		新着のEメール、ライトメールあり
		未読のEメールあり
		未読のライトメールあり
		未読のEメール、ライトメールあり
		Eメール受信失敗
		電話に出られなかった着信あり

* : 分計発信時には、「」のように反転して表示されます。

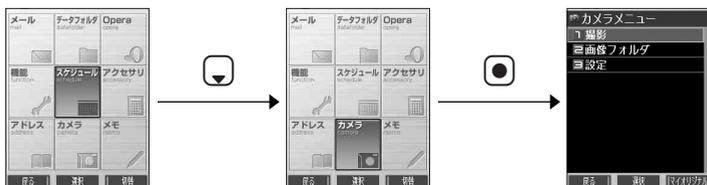
● キー操作の基本

ここでは、各キーの使いかたと、本書内でのキー表記について説明します。

カーソルを動かして選択／確定する（フロントジョグキー／センターキー）

本書内の表記	キーの操作	説明
 または 		項目を選択したり、文字入力中にカーソルを動かしたりするときに使用します。  を押し続けると画面をスクロールすることができます。
		選択されている項目の確定や、文字入力中の変換候補の確定に使用します。また、操作ガイドエリアの中央に表示されている機能を実行するときにも使用します（「ソフトキーの操作について」17ページ）。

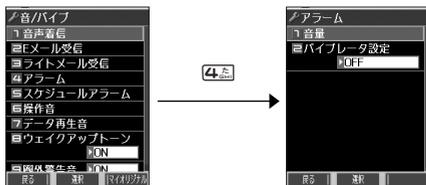
■各種メニュー画面で項目を選択して決定する場合



数字キーを使って項目を選択する（ダイヤルキー）

メニュー項目の左側に番号やアイコン（～、、）が表示されているときは、（カーソルを合わせで選択する以外に）対応するダイヤルキーを押して選択／決定することができます。

例：項目4を選択する場合



一つ前の画面に戻る／操作を中止する（クリアキー／電源・終話キー）

途中操作がわからなくなったときや間違えたときは、【戻る】（操作ガイド表示エリアに【戻る】が表示されている場合）またはを押して前の画面に戻ることができます。

また、を押すと操作を中止して待受画面に戻ることができます。Opera起動中の場合は、表示画面はそのままでもオフラインになります。



ページをめくる（ページアップキー／ページダウンキー）

すべての項目が1画面で表示しきれない場合に、▲（PAGE）、▼（PAGE）を使って画面単位で前／次の画面に切り替える（ページをめくる）ことができます。

すべての項目が1画面に表示されているかどうかは、スクロールバーの状態を確認することができます。



ソフトキーの操作について

メインディスプレイの操作ガイド表示エリアに表示されている機能を表示／実行するときは、表示位置に対応するキーを押します。

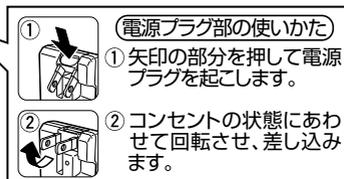
本書での表記	説明	
	操作ガイド表示エリアの左側に表示された機能を実行します（右図では【戻る】で1つ前の画面に戻ります）。	
	操作ガイド表示エリアの中央に表示された機能を表示します（右図では【選択】で項目を確定します）。	
	操作ガイド表示エリアの右側に表示された機能を実行します（右図では【メニュー】でメニューを表示します）。	

■ACアダプタ (AD320K) を使って充電する

1] WX320KのUSB端子カバーを開き、コネクタの刻印面を下にしてUSB端子に奥まで差し込みます。



2] 電源プラグ部を回転させて起こし、家庭用AC100Vのコンセントに差し込みます。



■充電中のディスプレイ表示

画面	充電中		充電完了	
	電源ON時	電源OFF時	電源ON時	電源OFF時
メインディスプレイ	■の点滅	表示なし	■の点灯	表示なし
サブディスプレイ	■の点滅 照明赤色点灯	照明赤色点灯	照明消灯	

● ご注意

- 充電の際、充電完了でないにもかかわらず、サブディスプレイの照明が短時間で消灯したときは、WX320Kをセットし直してください。それでも消灯したままの場合は、電源プラグを抜いてウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターにご連絡ください。
- 充電が完了した後、WX320Kを充電用機器から取りはずし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- WX320Kの充電端子、卓上ホルダの充電端子は、ときどき乾いた綿棒で清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります（このとき充電端子を変形させないでください）。
- 金属製ストラップを使用している場合は、ACアダプタをコンセントから抜くときにストラップが触れないよう注意してください。また、ストラップの金属部分が卓上ホルダの充電端子部分に触れないよう注意してください。
- バッテリーおよびバッテリーカバーが確実に取り付けられているかご確認ください（「バッテリーの交換」158ページ）。

● お知らせ

- ACアダプタ (AD320K) を使って充電する場合、充電中のメインディスプレイの照明は、「充電時LCD」の設定によって常時ONにすることもできます（「充電中の画面照明を設定する」108ページ）。
- 卓上ホルダで充電する場合のサブディスプレイの照明は、「充電時LCD」の設定にかかわらず常時「ON」になります。
- バッテリーの充電状態により赤色照明が点灯するまで時間が数分かかる場合があります。

■パソコンとUSBケーブルを使って充電する (USB充電)

機能番号71

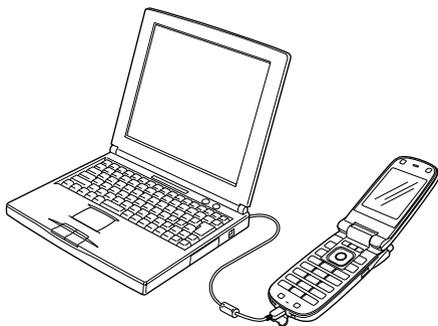
USBケーブルでパソコンと接続中に、充電することができます。

お買い上げ時：
「急速」

待受画面で

以下の項目から選択します。

OFF	USB充電を行いません。
通常	USB充電を行います。
急速	USB充電を、「通常」よりも短時間で行います。



● ご注意

- USBケーブルでWX320Kを充電するときは、直接パソコンに接続してください。
- WX320Kの電源をOFFにした状態で「USB充電」を「OFF」に設定している場合は、「通常」設定時と同様の充電を行います。

● お知らせ

- 同梱のUSBケーブルを接続すると、 「急速」で充電をした場合、充電時間は約5時間、 「通常」で充電した場合は約35時間です。ただし、接続するパソコンによって異なります。
- 同梱品以外のUSBケーブルを使用される場合は、USB 1.1以上の認定品をご使用ください。
- パソコンとUSBケーブルを使った充電は補助的な充電であり、充電用機器（卓上ホルダまたはACアダプタ）で充電した場合と同程度の充電はできません。

● アンテナの取り扱いについて

アンテナは収納したままでもご使用いただけますが、電波の弱い場所でご使用の場合、電話がつながらなかったり、通話が途切れたり、電話が切れてしまったりすることがあります。このようなときはアンテナを伸ばしてご使用ください。

- アンテナを伸ばすとき
アンテナの先端部を持ち、止まるまで完全に伸ばしてください。
- アンテナを収納するとき
アンテナの根もとあたりを持ち、しっかりと収納してください。



● ご注意

- アンテナの先端を持って無理に押し込むと、アンテナが曲がったり、折れたりするおそれがあります。
- アンテナが完全に伸びていないと、使用中にアンテナが動き、感度が悪くなります。

● 電源をON/OFFにする

電源をONにする	を長く (2秒以上) 押す 電源がONになったことをお知らせする「ウェイクアップトーン」(105ページ) が鳴ります。電源ONのアニメーションが表示された後、待受画面が表示されます。
電源をOFFにする	を長く (2秒以上) 押す 電源OFFのアニメーションが表示された後、電源が切れます。

● お知らせ

- USBケーブルを接続した状態で電源をONにした場合は、「ウェイクアップトーン」(105ページ) は鳴動しません。ただし、「ビボ音(データ通信が可能な状態となったときの確認音)」が鳴動します(着信音が設定されているとき)。

● 時計を設定する(日時設定)

機能番号51

待受画面などに表示される日付と時刻を設定します。アラームの設定や、着信履歴、発信履歴、ライトメールの受信日時、Eメール/ライトメールの送信日時、スケジュール(スケジュール、TODO、カレンダー)などは、ここで設定した日付に従って動作または表示します。

お買い上げ時：
「2007年1月1日00:00」
(停止した状態)

待受画面で ▶ ▶ ▶ 西暦(4桁)、月(2桁)、日(2桁)、時刻(24時制)を入力し、 [確定]

● ご注意

- 以下のような場合、「日時設定」がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。再度設定を行ってください。
 - ・長時間お使いにならなかった場合
 - ・バッテリーをはずしていた場合
 - ・バッテリー残量が完全になくなってしまった場合
- 日時設定を行わないと、アラーム、スケジュールの機能を使用することができません。

● お知らせ

- 入力できる日付は、2007年1月1日～2090年12月31日までです。
- 時計の表示は12時間表示と24時間表示があり、「時計カレンダー表示」(107ページ)で設定した方法で表示されます。

● 自動時刻補正を行う（自動時刻補正）

機能番号52

パケット通信開始時にネットワークから時刻を取得して、待受画面などに表示する日付と時刻の補正を行うかどうかを設定します。パケット通信を行うにはオンラインサインアップ（無料）が必要です。オンラインサインアップの詳細については、「オンラインサインアップをする」（48ページ）をご参照ください。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で ▶  ▶  ▶  「ON」 または  ▶  ▶  「OFF」

上記のとおり操作し、パケット通信を行った後に待受画面に戻ると時刻が補正されます。

 お知らせ

- 時刻の補正は、日付に誤差がある場合、または時刻に約30秒以上の誤差がある場合、パケット通信終了後に行われます。
- お客様ご自身で日付と時刻を入力することもできます（「時計を設定する」20ページ）。

● 時計に日付を表示させる（ピクト時計）

機能番号53

ピクト表示エリアの時計表示に、日付を表示させるかどうかを設定します。

待受画面で ▶  ▶ 

以下の項目から選択します。

 日付+時間	日付と時間を表示します。
 時間	時間のみを表示します。

 お知らせ

- 時計の表示は12時間表示と24時間表示があり、「時計カレンダー表示」（107ページ）で設定した方法で表示されます。

お買い上げ時：
「日付+時間」

ピクト時計



基本的な使いかた

● 電話をかける

電話番号を入力してかける

待受画面で 電話番号を入力し、または【発信】▶ 通話が終わったら



ご注意

- 一般電話へかける場合には、必ず市外局番から入力してください。
- PHS/携帯電話へかける場合には、「0」から始まる11桁の電話番号を入力してください。
- 受話口から「ツーツー」と聞こえるときは以下のいずれかの状態です。
 - ・電波が非常に弱い地域
 - ・いったん電話を切り、電波状態のよいところへ移動してから再度かけ直してください。
 - ・回線が混んでいる/相手が通話中
 - ・いったん電話を切り、しばらくしてから再度かけ直してください。
- 通話時間の表示は目安です。

お知らせ

- 入力できる電話番号は32桁までです。
- 入力中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・入力を間違えたときはを押します。を押すごとに下1桁を削除します。
 - ・途中の番号を間違えたときはでカーソルを移動させ、希望の位置に番号を追加したり、削除したりできます。
- 電話番号入力後、【メニュー】を押すと、以下の発信方法を選択して電話をかけることができます。

184発信	入力した電話番号に184発信（自分の電話番号を通知しない）します。
186発信	入力した電話番号に186発信（自分の電話番号を通知する）します。
分計発信	入力した電話番号に料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」154ページ）。
184分計発信	入力した電話番号に、184発信（自分の電話番号を通知しない）と料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」154ページ）。
186分計発信	入力した電話番号に、186発信（自分の電話番号を通知する）と料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」154ページ）。

- 相手がPHS/携帯電話の電源を切っているときや、電波が届かない地域にいるときは、接続できないことを音声ガイダンスでお知らせします。
- 最初にを押してから電話番号を入力してかけることもできます。
- 特定のISDN端末へ電話をかけるには、以下の手順で行います。

電話番号を入力▶▶ サブアドレス（ISDN独自の番号）▶

入力できるダイヤル桁数（電話番号++サブアドレスの桁数の合計）は32桁までです。
- 待受中または通話中に「しっかリンク®」を起動すると、その時点で最も強い電波を選択し、切り替えることができます。ただし、場所によっては電波状況が変わらないこともあります。通話中は、1回の通話につき3回まで起動できます。「しっかリンク®」を起動するには、以下の手順で行います。

待受画面または通話中にを長く（1秒以上）押す
- 一度の通話時間が2時間を超える場合、2時間ごとに「ピピッ」というお知らせ音が鳴ります。
- 通話中に【メニュー】を押すと、以下のメニューが表示されます。ただし、選択できる項目は通常の機能とは異なります。
 - ・機能
 - ・アドレス
 - ・データフォルダ
 - ・スケジュール
 - ・アクセサリ
 - ・メモ
 - ・メール
- 通話中にバッテリー残量が不足すると、バッテリー残量警告音が鳴ります。バッテリー残量警告音を鳴らさないように設定することはできません。

以前にかけた相手の電話番号やかかってきた相手の電話番号は、それぞれ新しいものから30件まで記録されます。30件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。発信履歴や着信履歴から電話をかけることができます。

待受画面で (発信履歴) または (着信履歴) ▶ 発信履歴／着信履歴を選択し、

例：発信履歴
表示画面

ご注意

- シークレットモードを解除しているときは、シークレット登録されているアドレス帳の情報（名前／種別／画像）は表示されません（「シークレットモードを設定する」123ページ）。

お知らせ

- 発信履歴／着信履歴を選択するときは、以下の手順で行います。

- : 新しい履歴順に表示します。
- : 古い履歴順に表示します。

- 発信履歴／着信履歴／不在着信履歴を表示するには、以下の手順でも行えます。

待受画面で ▶ ▶ 「発信履歴」、 ▶ 「着信履歴」、または ▶ 「不在着信履歴」

- 発信履歴／着信履歴の詳細（発信履歴／着信履歴詳細表示画面）を表示するには、以下の手順で行います。

発信履歴／着信履歴表示画面で履歴を選択し、 【表示】

- ・ 発信履歴／着信履歴の詳細表示画面
 - 1: 履歴番号、未応答アイコン（着信履歴の場合）
 - 2: 名前（アドレス帳に登録されているとき）
 - 3: 電話番号または非通知理由（着信履歴の場合）
 - 4: 発信／着信日時
 - 5: 通話時間
 - 6: 画像（アドレス帳に登録されているとき）

- 発信履歴画面に表示されるアイコンは、以下のとおりです。

- : 分計発信（分計発信（154ページ）した場合）
- 分計発信した発信履歴から電話をかけるときは、分計発信を使用します。
- 着信履歴画面に表示されるアイコンは、以下のとおりです。
 - : 不在着信（電話に出られなかった場合）
 - : ワン切りの可能性あり（着信時間が3秒未満の不在着信があった場合）
 - : 着信拒否（着信拒否機能により着信を拒否した場合「着信拒否する電話番号を設定する」120ページ）
 - : 伝言メモあり（伝言メモ（28ページ）／安全運転モード（32ページ）で相手のメッセージを録音している場合）

- 通話できなかった場合も記録されます。



発信履歴詳細
表示画面



着信履歴詳細
表示画面



● 電話をかける

■ 発信履歴画面／着信履歴画面のメニューを使う

待受画面で (発信履歴) または (着信履歴) ▶ 発信履歴／着信履歴を選択 ▶ [メニュー]

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択した履歴画面により異なります。

<p> 発信</p>	<p>■ 選択した電話番号に電話をかける場合 ▶ または 【発信】</p> <p>■ 選択した電話番号に特番を付加して電話をかける場合 ▶ 【メニュー】 ▶ 「184発信」、 「186発信」、 「分計発信」、 「184分計発信」、または 「186分計発信」</p> <p>■ 選択した電話番号を編集して電話をかける場合 ▶ 電話番号を編集し、 または 【発信】 (特番を付加する場合は 【メニュー】 を押す)</p>
<p> アドレス帳へ登録</p>	<p> 新規 選択した履歴の電話番号をアドレス帳に新規登録します (「アドレス帳に登録する」40ページ)。</p> <p> 追加 ▶ (追加するアドレス帳の「名前」を入力し、 【検索】 ▶) *アドレス帳を選択し、 【選択】 ▶ 登録先を「電話番号1〜3」から選択し、 【選択】 ▶ 【登録】 または 【登録】 ▶ 「はい」</p> <p>*: アドレス帳の検索方法は「呼び出し検索設定」の設定 (46ページ) で異なり、ここでは「名前」を入力してアドレス帳を表示する方法 (お買い上げ時の設定) で説明しています。 すでに登録されているアドレス帳データに、電話番号を追加登録します。</p>
<p> ライトメール作成</p>	<p>選択した履歴の電話番号を宛先としたライトメールを作成します (「ライトメールを作成して送信する」54ページ)。</p>
<p> 表示切り替え</p>	<p>▶ 「1件」または 「一覧」</p> <p>履歴表示を「1件表示」と「一覧表示」に切り替えます。</p>
<p> 発信先限定へ登録*¹</p>	<p>選択した電話番号を発信先限定の発信先一覧に登録します (「登録した電話番号以外に電話をかけられなくする」123ページ)。</p>
<p> 着信拒否へ登録*²</p>	<p>選択した電話番号を着信拒否の指定番号一覧に登録します (「着信拒否する電話番号を設定する」120ページ)。</p>
<p> 削除</p>	<p>▶ 「1件」、 「選択」、または 「全件」</p> <p>発信履歴／着信履歴を削除します (「各機能の情報を削除する」142ページ)。</p>

*¹: 発信履歴画面のメニューを表示しているときに表示されます。

*²: 着信履歴画面のメニューを表示しているときに表示されます。

スピードダイヤルを使う

スピードダイヤルを使って素早く電話をかけたり、Webページにアクセスすることができます。

■ スピードダイヤルで電話をかける

アドレス帳のアドレス帳No.000～099に登録している電話番号へかける場合は、アドレス帳No.の下1桁または下2桁を入力し、 を押すだけで電話をかけることができます。

■ アドレス帳No.000～009の場合

待受画面で **アドレス帳No.の下1桁** ～ を入力し、 または 【発信】

■ アドレス帳No.010～099の場合

待受画面で **アドレス帳No.の下2桁** ～ (十の位) ▶ ～ (一の位) を入力し、 または 【発信】

ご注意

- 「スピードダイヤル」または「アドレス帳閲覧」に操作ロックを設定していると、スピードダイヤルは使用できません (「各種機能の操作にロックをかける」122ページ)。
- シークレット登録したアドレス帳No.へは、シークレットモード設定中のみスピードダイヤルで電話をかけることができます (「シークレットモードを設定する」123ページ)。

お知らせ

- アドレス帳に登録されていないアドレス帳No.を入力し を押すと、「該当するデータがありません」と表示されます。
- 電話番号が複数登録されているときは、通常使用電話番号に電話をかけます。
- スピードダイヤルを使って、以下の操作を行うこともできます。
 - ・ 登録されているEメールアドレス宛のEメール作成画面を表示する
待受画面でアドレス帳No.を入力し、 を押す
 - ・ 登録されているライトメールアドレス宛のライトメール作成画面を表示する
待受画面でアドレス帳No.を入力し、 を長く (1秒以上) 押す
- スピードダイヤルを使用したくない場合は、操作ロックで設定できます (「使用制限を設定／解除する」122ページ)。

■ スピードダイヤルでWebページにアクセスする

ブックマークのブックマークNo.やCCコードを入力し、**[4]**を押すだけで、Webページにアクセスすることができます。

■スピードダイヤルを「ブックマーク」に設定*している場合

待受画面で **ブックマークNo.を[0]~[9]から入力し、[4]**

■スピードダイヤルを「CCコード」に設定*している場合

待受画面で **CCコードの番号をダイヤルキーから入力し、[4]**

*：「スピードダイヤル」の設定方法については、「Operaブラウザの環境設定」（80ページ）をご参照ください。

🔍 ご注意

●「スピードダイヤル」または「Opera」に操作ロックを設定していると、スピードダイヤルは使用できません（「各種機能の操作にロックをかける」122ページ）。

📢 お知らせ

●スピードダイヤルを使用したくない場合は、操作ロックで設定できます（「使用制限を設定／解除する」122ページ）。

自分の電話番号を相手に通知する（発信者番号通知）

機能番号 15

「発信者番号通知」を「ON」に設定すると、電話をかけるとき、自分の電話番号を相手に通知します。パケット通信を行う場合は、「発信者番号通知」を「ON」に設定してください。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で **[ON] または [OFF]**

🔍 ご注意

●PIAFS通信をする場合は、プロバイダーによっては「発信者番号通知」を**[ON]**に設定する必要があります。

国際電話をかける

ウィルコム国際電話サービス（手続き不要）を利用して、世界約240の国と地域へかんたんなダイヤル方法で手軽に国際電話をかけることができます。

■ WX320Kから海外へかける場合

例：アメリカの「212-123-△△△△」へかける場合

待受画面で



🔍 ご注意

●相手先電話番号が「0」から始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください（一部の国と地域を除く）。

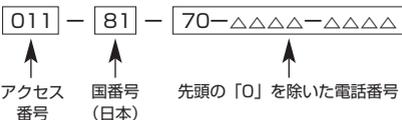
📢 お知らせ

●ウィルコム国際電話サービスについて

- ・国際電話をご利用の際、ウィルコムへのお申し込みは不要です。
- ・国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただいております。ご利用限度額を超過したと確認できた時点から、国際電話サービスがご利用（発信のみ）いただけません。超過時はライトメールでお知らせします。ご利用限度の設定変更および再開は、ウィルコムサービスセンターにお申し出ください。
- ・国際電話サービスは、30秒単位での課金となります。
- ・国際通話料金は、毎月のウィルコムのご利用料金と合算してのご請求となります。
- ・ご利用を希望されない場合は、お申し込みにより国際電話サービスを利用不可にすることもできます。詳しくはウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

■ 海外から日本国内のWX320Kへかける場合

例：アメリカからWX320K「070-△△△△-△△△△」へかける場合



🔍 ご注意

●アクセス番号は、国によって異なります。

● 電話を受ける

着信中に を押す

電話を受けることができます。

エニーキーアンサーを設定している場合は、 ~ 、、、、、 のいずれかのキーでも電話を受けることができます（「エニーキーアンサーを設定/解除する」135ページ）。

ご注意

- 電話の着信は、すべての操作に優先して行われます。
- パケット通信中の電話の着信設定（132ページ）が「停止」の場合、パケット通信中は着信できません。

お知らせ

- 着信中は、以下の操作を行うことができます。

	着信音量を調節します。
 を長く（1秒以上）	着信音を停止させてバイブレーションの振動に切り替えます（「着信中に着信音をバイブレーションに切り替える」32ページ）。
シャッター／メモキー  （サイドキー）または 	着信音量を「OFF」にします。
シャッター／メモキー  を長く（1秒以上）または  【メモ】	伝言メモで応答します（「電話に出られないときに応答して相手の声を録音する」28ページ）。

- 電源をOFFにしているときや、サービスエリア外にいるときにかかってきた電話を、他の電話に転送することができます（「着信転送サービスについて」153ページ）。
- 電話をかけてきた相手が発信者番号を非通知にしている場合や、公衆電話からかけてきた場合などは、以下のように表示されます。

表示内容	非通知理由
ユーザ非通知	相手が番号通知を拒否している
通知不可能	番号通知ができないエリアや電話機からかけている
公衆電話発信	公衆電話からかけている

- 発信者番号にサブアドレスが含まれている場合は、電話番号の上の行にサブアドレスが表示されます。
- 通話中に 【メニュー】を押すと、以下のメニューが表示されます。ただし、選択できる項目は通常の機能とは異なります。
 - ・ 機能
 - ・ アドレス
 - ・ データフォルダ
 - ・ スケジュール
 - ・ アクセサリ
 - ・ メモ
 - ・ メール

- 通話中にバッテリー残量が不足すると、バッテリー残量警告音が鳴ります。バッテリー残量警告音を鳴らさないように設定することはできません。

通話中に保留する（ミュート）

通話中に相手に待っていただけます。保留中はお互いに相手の声が聞こえません。

通話中に

1 【ミュート】を押す

2 通話できる状態になったら 【ミュート解除】

相手と通話ができます。



● 通話中にブッシュ信号を送る

“ピッポッパッ”というブッシュ信号を送ることにより、留守番電話のリモート操作、チケット予約や銀行の残高照会などのブッシュホンサービスを利用することができます。アドレス帳や発信履歴に登録したダイヤルをブッシュ信号で送出する際に、番号と番号の間に「P（ポーズ）」を入れることにより、「P」の後の番号を一時停止させることができます。

例：△△銀行のID番号「6666」、口座番号「9999」を送信する場合（この場合、アドレス帳の電話番号に「6666P9999」と登録しておきます）

△△銀行通話中に

1 【アドレス帳】 ▶ アドレス帳を選択し、 【詳細表示】 ▶ ブッシュ番号を登録した項目を選択 ▶ 【メニュー】

2 「一括送付」を押す

ID番号「6666」までを送信します。

3 を押す

口座番号「9999」を送信します。

ご注意

- 電波状態が悪いと送れないことがあります。
- 通話中に「P」を入力することはできません。「P」は電話をかける前に入力しておくか、アドレス帳に登録しておく必要があります。
- 通話中にダイヤルメモに登録した場合、登録したダイヤルを画面に表示している間は、アドレス帳画面を表示させることができます。

お知らせ

- P（ポーズ）を入力するには、以下の手順で行います。
番号入力画面でP（ポーズ）を入力する前までの番号を入力 ▶ [/ P] またはシャッター / メモキー （サイドキー）を2回押す
入力した番号の後にP（ポーズ）が表示されます。

● マイオリジナルを使う

よく使うメニューやデータなどをマイオリジナルに登録しておく、すばやく呼び出すことができます。マイオリジナルには以下の項目を20件まで登録できます。

- ・アドレス帳データ（44ページ）
- ・スケジュールデータと一覧（112、116ページ）
- ・TODOデータと一覧（112、118ページ）
- ・ブックマークのURL（78ページ）
- ・メモ帳の起動とデータ（130ページ）
- ・電卓の起動（136ページ）
- ・Myボイスメモ一覧（132ページ）
- ・音声 / 伝言メモ（29ページ）
- ・機能設定の設定項目（プロフィールを除く）
- ・Operaメニューと「設定」の各項目（74、80ページ）
- ・メールメニューと「設定」の各項目（50、63ページ）
- ・ダイヤルメモ（131ページ）
- ・カレンダー（112ページ）
- ・カメラ撮影（88ページ）
- ・QRコードリーダー（143ページ）
- ・Java™アプリ（144ページ）
- ・Java™アプリの一覧設定（145ページ）
- ・データフォルダの各フォルダ（96ページ）
- ・データフォルダに保存されているファイル（101ページ）
- ・アラーム（128ページ）

お買い上げ時：
未登録

例：マイオリジナル
表示画面



待受画面で 【マイオリジナル】 ▶ 呼び出したい項目を選択し、 【選択】

お知らせ

- マイオリジナルに機能を登録するには、以下の操作を行います。
 - メニューから登録する場合
マイオリジナルに登録したい機能の画面を表示、または項目を選択 ▶ 【メニュー】 ▶ 「マイオリジナルへ登録」を選択し、
 【選択】 ▶ 登録したい行を選択し、 【選択】
 - 操作ガイド表示エリアに【マイオリジナル】と表示されている場合
マイオリジナルに登録したい機能の画面を表示、または項目を選択 ▶ 【マイオリジナル】 ▶ 登録したい行を選択し、 【選択】
- マイオリジナル表示画面で 【メニュー】を押すと、以下の操作を行います。

順番変更	▶ 移動したい場所を選択し、 【選択】 選択したマイオリジナル項目の順番を変更します。
削除	▶ 「1件」、 「選択」、または 「全件」 マイオリジナルを削除します（「各機能の情報を削除する」142ページ）。

● 音声メモ／伝言メモを使う

音声メモを使って通話中に相手の声を録音したり、伝言メモで電話に出られないときに応答メッセージを流して相手の伝言を録音することができます。
録音件数は、音声メモ・伝言メモ・安全運転モード時に録音した相手のメッセージ（32ページ）と合わせて、3件まで録音できます。1件の録音時間は約30秒までです。

■ 通話中に相手の声を録音する（音声メモ）

通話中に相手の声を録音します。

通話中に シャッター／メモキー (サイドキー) ▶ 約30秒経過または (停止) で録音終了

● ご注意

● 録音件数がすでに3件登録されている場合は、「録音件数に空きがありません」と表示され、録音はできません。

● お知らせ

● 音声メモが録音されているときは、待受画面に「」が表示されます。

● 音声メモの録音は、以下の手順でも行えます。

通話中に ▶ 「メモ」を選択し、 【選択】 ▶ 「音声／伝言メモ」 ▶ 「音声メモ録音」

● 録音できるのは相手の声だけです。自分の声は録音されません。



■ 電話に出られないときに応答して相手の声を録音する（伝言メモ）

電話に出られないとき、自動的に応答メッセージを流して相手の伝言を録音します。

● お知らせ

● วิลコムで提供している留守番電話サービス（「留守番電話サービスについて」152ページ）とは異なります。

● WX320Kの伝言メモと、留守番電話サービスの両方を利用されているときは、WX320Kの伝言メモ応答時間と留守番電話センター呼び出し時間で短く設定されている方が優先されます。伝言メモ応答時間を変更するには「応答時間を設定する」（29ページ）、留守番電話センターの呼び出し回数を変更するには「留守番電話サービスの設定を変更する」（153ページ）をご参照ください。

● 伝言メモの設定にかかわらず、着信中に以下の操作で応答メッセージが流れ、相手の伝言を録音できます。

着信中にシャッター／メモキー (サイドキー) を長く（1秒以上）押す

着信中に 【メモ】 を押しても相手の伝言を録音できます。なお、録音ができない場合は、「ただいま電話に出ることができません。後程おかけ直しください。」というメッセージを再生し、録音を行わずに電話を切ります。

■ 伝言メモを設定／解除する（伝言メモ設定）

機能番号61

待受画面で シャッター／メモキー (サイドキー) を長く（1秒以上）押す

WX320Kを開いた状態のときに操作を行ってください。

● ご注意

● 録音中に録音時間がなくなったときは、録音を終了し、電話を切ります。

● 録音件数がすでに3件登録されている場合は、応答メッセージが自動的に「ただいま電話に出ることができません。後程おかけ直しください。」に変わります。伝言メモ応答時に応答メッセージを再生し、録音を行わずに電話を切ります。

● お知らせ

● 伝言メモの設定／解除は、以下の手順でも行えます。

待受画面で ▶ ▶ ▶ 「ON」または 「OFF」

● 伝言メモを設定すると、待受画面に「」が表示されます。

● 伝言メモ録音動作中（応答メッセージ再生中や録音中）に、 を押すと、伝言メモ録音動作を中断し、通話をすることができます。中断までの内容は録音されています。

● 応答メッセージは、固定メッセージとオリジナルメッセージから選択することができます（「応答メッセージを設定する」29ページ）。

お買い上げ時：
「OFF」

伝言録音中画面



■ 伝言メモの応答メッセージを録音する（応答メッセージ録音）

機能番号62

「応答メッセージ選択」（29ページ）で「オリジナル」を設定した場合に流れる応答メッセージを録音します。応答メッセージは1件、約15秒まで録音できます。

待受画面で ▶ ▶ **録音開始** ▶ 約15秒経過または **【終了】** で録音終了

確認画面が表示されます。

確認画面では以下の操作を行うことができます。

再生	録音した応答メッセージを再生します。
録り直し	応答メッセージを録音し直します。
終了	応答メッセージを保存します。

確認画面



お知らせ

● 上記手順の 「応答メッセージ録音」を選択中に **【メニュー】** を押すと、以下の操作を行います。

マイオリジナルへ登録	応答メッセージ録音画面をマイオリジナルへ登録します（「マイオリジナルを使う」27ページ）。
消去	▶ 「はい」 を押す 登録した応答メッセージを消去します。

■ 応答メッセージを設定する（応答メッセージ選択）

機能番号63

応答メッセージは、自分で録音するオリジナルメッセージと固定メッセージから選択できます。

お買い上げ時：
【固定メッセージ】

待受画面で ▶ ▶ **【メニュー】**

以下の項目から選択します。

固定メッセージ	「ただ今電話に出ることができません。ピーッと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」
オリジナル	自分で録音した応答メッセージが流れます（「伝言メモの応答メッセージを録音する」29ページ）。

お知らせ

● 上記手順の 「応答メッセージ選択」を選択中に **【メニュー】** を押すと、以下の操作を行います。

マイオリジナルへ登録	応答メッセージの設定をマイオリジナルに登録します（「マイオリジナルを使う」27ページ）。
再生	選択した応答メッセージを再生します。

● 録音件数がすでに3件登録されている場合は、設定に関係なく「ただいま電話に出ることができません。後程おかけ直しください。」というメッセージを再生し、録音を行わずに電話を切ります。

■ 応答時間を設定する（伝言メモ応答時間）

機能番号64

電話がかかってきてから伝言メモで応答を開始するまでの時間を設定します。応答時間は、「00秒」～「30秒」（1秒単位）の範囲で設定できます。

お買い上げ時：
【9秒】

待受画面で ▶ ▶ **【メニュー】** ▶ **伝言メモ応答時間（00秒～30秒）** を入力し、 **【確定】**

■ 音声メモや伝言メモを再生／削除する

音声メモと伝言メモに録音された内容や、安全運転モード時に録音された相手のメッセージの内容を待受中や通話中に聞くことができます。

再生する	待受画面でシャッター／メモキー （サイドキー）▶ 「音声／伝言メモ再生」 または 待受画面／通話中に ▶ 「メモ」 を選択し、 【選択】 ▶ 「音声／伝言メモ」 ▶ 「再生」
削除する	待受画面で ▶ 「メモ」 を選択し、 【選択】 ▶ 「音声／伝言メモ」 ▶ 【削除】 ▶ 「1件目」 、 「2件目」 、 「3件目」 、または 【全件削除】 ▶ 「はい」

*：音声メモや伝言メモの録音件数によって、表示される項目が異なります。また、「全件削除」を選択した場合、暗証番号の入力が必要です。



お知らせ

● 通話中に音声メモを再生すると、音声メモの内容は相手と自分の両方に聞こえます。

● 再生中は、以下の操作を行うことができます。

- ・ ：音量を調節できます。
- ・ ：前または次の音声メモ／伝言メモを選択します。再生するには **【開始】** を押します。
- ・ **【停止】** ：再生が停止します。

● マナーモードを設定／解除する（マナーモード）

公共の場所で音を鳴らさないようにしたいときなどは、マナーモードにします。WX320Kには4つのモードが用意されています。お買い上げ時は「マナーモード解除」に設定されており、初めてマナーモードを起動した場合は「標準マナーモード」が起動します。

各マナーモード設定時に待受画面に表示されるアイコンは以下のとおりです。

標準マナーモード	
サイレントマナーモード	
オリジナル1マナーモード	
オリジナル2マナーモード	

待受画面で を長く（1秒以上）押す

前回選択したモードでマナーモードが設定されます。

お知らせ

- マナーモードを設定した場合、確認のバイブレーションが約2秒間振動します。
- モードを選択して設定する場合は、「モードを選択して設定する」（30ページ）をご参照ください。
- WX320Kを閉じているときは、以下の手順で行います。

待受画面でシャッター／メモキー （サイドキー）を長く（1秒以上）押す

- マナーモードの解除は、以下の手順でも行えます。

待受画面で ▶ 「マナーモード解除」

モードを選択して設定する

待受画面で ▶ 「標準マナー」、 「サイレントマナー」、または 「オリジナル1マナー」、

お買い上げ時：
「OFF」「標準マナー」

「オリジナル2マナー」

マナーモード設定中は以下の設定になります。

機能		「標準マナー」	「サイレントマナー」	「オリジナル1マナー」	「オリジナル2マナー」
音声着信	音量	OFF	OFF	各マナーの設定によります（「オリジナルマナーを登録する」31ページ）。	
	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
Eメール受信	音量	OFF	OFF		
	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
ライトメール受信	音量	OFF	OFF		
	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
アラーム	音量	OFF	OFF		
	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
スケジュールアラーム	音量	OFF	OFF		
	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
操作音		OFF	OFF		
データ再生音		OFF	OFF		
ウェイクアップトーン		OFF	OFF		
伝言メモ設定		ON	ON		
ライトメール送達確認音		OFF	OFF		

ご注意

- カメラ撮影時のシャッター音は、マナーモード設定中でも鳴ります。

お知らせ

- マナーモード設定中でもモードを切り替えることができます。

オリジナルマナーを登録する（オリジナルマナー編集）

マナーモードの設定をお好みに合わせて変更し、オリジナルマナーとして2種類登録できます。

待受画面で

1 「オリジナル1マナー」または「オリジナル2マナー」を選択し、 [設定]

以下の項目から選択します。

 音声着信	 音量	▶  で音量を調節し、  【OK】 電話がかかってきたときの着信音量を設定します。
	 バイブレーション設定	▶  「OFF」、またはパターンを選択し、  【選択】 電話がかかってきたときのバイブレーションを設定します。
 Eメール受信	 音量	▶  で音量を調節し、  【OK】 Eメールを受信したときの受信音量を設定します。
	 バイブレーション設定	▶  「OFF」、またはパターンを選択し、  【選択】 Eメールを受信したときのバイブレーションを設定します。
 ライトメール受信	 音量	▶  で音量を調節し、  【OK】 ライトメールを受信したときの受信音量を設定します。
	 バイブレーション設定	▶  「OFF」、またはパターンを選択し、  【選択】 ライトメールを受信したときのバイブレーションを設定します。
 アラーム	 音量	▶  で音量を調節し、  【OK】 アラーム鳴動時の音量を設定します。
	 バイブレーション設定	▶  「OFF」、またはパターンを選択し、  【選択】 アラーム鳴動時のバイブレーションを設定します。
 スケジュールアラーム	 音量	▶  で音量を調節し、  【OK】 スケジュールアラーム鳴動時の音量を設定します。
	 バイブレーション設定	▶  「OFF」、またはパターンを選択し、  【選択】 スケジュールアラーム鳴動時のバイブレーションを設定します。
 操作音	▶  で音量を調節し、  【OK】 キーを押したときの音量を設定します。	
 データ再生音	▶  で音量を調節し、  【OK】 データフォルダのメロディなどを再生するときの音量を設定します。	
 ウェイクアップトーン	▶  「ON」または  「OFF」 電源を入れたときの確認音を鳴らすかどうかの設定をします。	
 伝言メモ設定	▶  「ON」または  「OFF」 伝言メモ応答するかどうかの設定をします。	
 ライトメール送達確認音	▶  「ON」または  「OFF」 ライトメールの送信成功時に確認音を鳴らすかどうかの設定をします。	

2 [登録] を押す

 ご注意

- オリジナルマナー設定中は、選択されているマナーモードのみ各種設定を変更することができます。

● 通話中に受話音量を調節する

通話中に相手の声の大きさを「音量レベル1」（最小）～「音量レベル5」（最大）の5段階に調節します。

通話中に  で音量を調節する

お買い上げ時：
「音量レベル3」



● サイドキーの操作を無効にする（サイドキー操作無効）

WX320Kを閉じた状態のとき、シャッター／メモキー （サイドキー）を操作無効にします。

待受画面で  を長く（1秒以上）押す

お買い上げ時：
「OFF」



- サイドキー操作無効を設定すると、待受画面に「」が表示されます。WX320Kを閉じているときには、サブディスプレイに「」が表示されます。
- サイドキー操作無効の設定は、WX320Kを閉じている状態でのみ有効です。WX320Kを開いた状態にすると、サイドキー操作が有効となります。
- サイドキー操作無効を解除するには、WX320Kを開いたときに再度、 を長く（1秒以上）押します。